

平成29年度シラバス

文化学園長野保育専門学校

科目名				授業の種類		授業担当者	
体育 I				演習		竹内 義雄	
学科	学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	必修・選択	
保育科	1	2	60	30	通年	選択	
[授業の目的・ねらい] 子どもたちの目に再び輝きを取りもどすための運動プログラムを学び、保育士として職場で実践できる能力を養う。							
[授業全体の内容と概要] 跳躍運動・支持運動・懸垂運動・マット運動・なわ跳び・跳び箱・平均台・鉄棒・集団あそびの各運動内容を年少、年中、年長のそれぞれの発達にあわせた指導プログラムを作成し、幼児への指導を想定し実践することにより、指導スキルを高める。							
[受講上の注意事項] ・授業開始時刻の厳守 ・提出物の提出日時の厳守 ・指定された服装の徹底と頭髪や爪の処理							
[使用テキスト] 生きる力を育む幼児のための柳沢運動プログラム (オフィスエム)				[評価基準] ・指導計画の作成と模擬授業の実践 ・受講態度(出席状況・服装・提出物)			
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]							
回	項目			授業内容			
1	オリエンテーション			授業内容の把握と目的・年間計画と進め方			
2	講義 1			子どもの脳科学			
3	講義 2			運動プログラムの作成法			
4	跳躍運動実技			うさぎ跳びなど多種類の跳躍運動を取り入れた動きの研究			
5	支持運動実技			犬歩きやクマ歩きなどの段階を踏んだ支持運動の研究			
6	懸垂運動実技			固定器具を利用しての運動の指導法を学ぶ			
7	マット運動実技			ゆりかごなど基本的な動きから前転などの基本技に発展させる			
8	なわ跳び実技			なわを利用しての動作分析から正確なジャンプを覚える			
9	とび箱実技			基本的な跳躍運動から閉脚とび・開脚とびに発展させる			
10	平均台実技			平衡感覚が身につくよう基本的な歩行やジャンプの応用			
11	鉄棒運動実技			低い鉄棒を利用しての逆さ感覚や回転を経験させるための研究			
12	集団あそび実技			色々な器具や日常生活品を利用しての遊びの研究			

13	模擬授業の実施 1 (後期終了までに全員が実施)	跳躍運動からの模擬授業の実施
14	模擬授業の実施 2	支持運動から模擬授業の実施
15	模擬授業の実施 3	懸垂運動から固定器具を使用しての模擬授業の実施
16	模擬授業の実施 4	マットを使用した模擬授業の実施
17	模擬授業の実施 5	なわを使用した模擬授業の実施
18	模擬授業の実施 6	大なわを使用した模擬授業の実施
19	実施授業の再検討	これまでに実施した授業の内容検討と反省
20	模擬授業の実施 7	とび箱(1～2段)を使用した模擬授業の実施 I
21	模擬授業の実施 8	とび箱(3～4段)を使用した模擬授業の実施 II
22	模擬授業の実施 9	低い平均台を使用しての模擬授業の実施 I
23	模擬授業の実施10	平均台を使用しての模擬授業の実施 II
24	実施授業の再検討	これまでに実施した授業の内容検討と反省
25	模擬授業の実施 11	低い鉄棒を使用しての模擬授業の実施 I
26	模擬授業の実施 12	鉄棒を使用しての模擬授業の実施 II
27	模擬授業の実施 13	いろいろな器具を使用しての集団遊びの模擬授業の実施 I
28	模擬授業の実施 14	いろいろな遊具を使用しての集団遊びの模擬授業の実施 II
29	実施授業の反省	これまでに実施した授業の反省
30	年間の総括	実施された模擬授業の評価・感想・反省